

第2号様式(第3関係)

平成20年度第2回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成20年10月27日(月)午後2時から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
(役職及び氏名) 会長：領木國雄
委員：岡田洋司、高柳勝子、宮沢洋子、石黒俊彦、岡島剛、
安藤証一、山村ノリ
(欠席)山本達三、西川 徹、太田明雄、岡島千衣子
事務局：松田康朗教育長、近藤鎮彦教育部長、池山富三課長、
秋田和清係長、佐藤正司主査
- 4 議題 (1)平成20年度生涯学習事業の進捗状況について ~資料 1~
(2)生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について~資料 2~
(3)その他
- 5 会議資料 ・平成20年度生涯学習学級講座受講状況(資料 1)
・豊山町生涯学習実施計画(資料 2)
・豊山町文化振興事業実績(別紙1)
・人材育成スポーツ教室・文化講習会事業実績(別紙2)
・サロンコンサート事業実績(別紙3)
- 6 議事内容
(司会：池山) 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。
ただ今から、第2回生涯学習推進審議会を開催します。
なお、山本委員、西川委員、太田委員、岡島委員より欠席の連絡をいただいておりますので報告させていただきます。
配布資料の確認
それでは、最初に領木会長よりあいさつをいただきます。
(領木会長) 本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。
朝夕はめっきり寒くなり、山からは紅葉の便りを聞かれるようになりま
した。先回は7月30日、真夏の開催だったので早3か月、月日の流れ
の早さを感じています。本日は生涯学習事業の中間報告と生涯学習基本

構想・基本計画について審議いただきます。貴重なご意見をいただき実のある会にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(司会：池山) 次に、松田教育長よりあいさつを申し上げます。

(松田教育長) 本日はご多用のところご出席いただきありがとうございます。

また、日頃は生涯学習、町教育行政に対しまして格別のご尽力を賜りまして感謝申し上げます。第2回となる今回の審議会では、生涯学習の現状と進捗状況を確認いただき、今後の方向性や施策に対してご意見をいただきたいと思っております。

(司会：池山) 議題に入る前に審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。

「議事録作成に関する指針」が10月1日から運用が開始されることになり、住民の皆さんに委員として参加いただく審議会や委員会等の議事録が町のホームページに掲載されることになりました。本会もその対象となり、要旨を抜粋しての掲載となります。他の審議会等も掲載され、どのような論議がされたかをお知らせします。

議事内容をホームページに掲載させていただくことに承認いただけますでしょうか。

～「異議なし」の声あり～

ありがとうございました。それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは領木会長にお願いします。

(領木会長) 議案(1)「平成20年度生涯学習事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。

～平成20年度生涯学習事業の進捗状況について～

資料NO.1により説明。(説明者)秋田係長

(領木会長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問ご意見はありますか。

(岡田委員) たくさんの講座を開催していますが、講座によって参加者にばらつきがあり、全体として芳しくないと思っております。この結果についてどう判断されていますか。例年こんな感じなのでしょう。

(佐藤主査) 講座によってばらつきがあるのは事実。参加者が定員を超えるものは数講座で、定員の6割～7割集まれば良いというのが現状です。趣味的なものは人気があり、難しいテーマのものは参加が少なくなります。ただ集まれば良いという考えではなく、乳幼児学級など政策的に進めなければならない講座は続けていきたいと考えています。

(宮沢委員) 体育の健康体力測定ですが、年1回の開催ですか。場所は保健センターですか。

(秋田係長) 年1回で、場所は各小学校持ち回りです。

(宮沢委員) 健康福祉フェスタでも同じような測定が行なわれていますね。参加者が少ないようですが。

(秋田係長) 運動能力を測定するために行なっています。一般参加の方は少ないですが、スポーツ少年団から奉仕活動の後に150人くらい参加しています。

(石黒委員) 特に大人が運動能力を測ることは、参考になると思います。

(秋田係長) 春はスポ少と相乗りで行なっています。参加者の7人は一般参加者で、スポ少の参加者は毎年100人から150人います。

(安藤委員) 老人会でも体力測定を行います。今年は10月30日と11月13日に行ないます。

(宮沢委員) 色々なところでやっていて区別しにくいので統一してはどうでしょうか。

(近藤部長) 全ての部局で行なう事業を包括して生涯学習と考えています。体力測定のような事業は他の部課でも行なわれておりますし、スポ少でも体力づくりを中心に行なっています。

生涯学習は町全体でおこなって事業を包括して方針としており、生きがいタウンの中でも他部課の事業を紹介しています。しかし、老人クラブのように全ての事業を掌握しているわけではありません。今後は、他部課との連絡を一層密にしていきたいと思っております。

また、先ほど固いテーマのものは参加者が集まりにくいとありましたが、昨今の社会情勢を考えますと家庭や学校、地域との連携にも問題があると思います。家庭教育の重要性を再認識し、教養を高めるだけでなく、大人も子どもも生きる力(能力)を高める内容の講座を検討しなくてはなりません。そういう意味では、例え参加者が少なくても現行の事業は成功している例といえると思っております。

(岡田委員) パソコン講座の回数を増やすことはできないでしょうか。

(佐藤主査) 民間と競合することになるので、きっかけ作り、「はじめの一步」としてこれ以上回数を増やすことは考えていません。

(領木会長) 他に、質問やご意見はありませんか。

何もなければ第1号議案「平成20年度生涯学習事業の進捗状況について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(領木会長) 第1号議案「平成20年度生涯学習事業の進捗状況について」は全員の拍手で承認されました。

続きまして、第2号議案「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画」について事務局から説明をお願いします。

～豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について～

資料NO.2、別紙1、別紙2、別紙3により説明。(説明者)近藤部長

(領木会長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問ご意見はありますか。

(岡田委員) 今の説明を聞き、非常に多岐にわたる事業をたいへん苦労して実施されていることが分かりました。しかし、社会を明るくする運動や様々な

相談事業など生涯学習のカテゴリーに入るのか疑問に思います。この10年で生涯学習の概念は大きく変わりました。参加者の減少から事業は偏りがちになり、固いものが敬遠されるようになりました。あまり間口を広げてしまうと目的がボケてしまうので、もっと行政目的や課題を明確した方がよいのではと考えます。

この傾向は、豊山町に限ったものではありません。生涯学習は、町民の自主的な学習意欲を高めるためにサポートするものです。住民ニーズをどのように捕まえているのかがポイントで、それが出来てなければいつまでも集まりは悪いままです。

地域の中に文化や生涯学習を根付かせることができるのか、町民の自発性、主体性をフォローしていくのかを整理して行政の立場からまとめていくかです。これからの時代は、インターネットなどの情報をどう処理していくかも大切と考えます。

(山村委員) ホームページにもっと住民の興味のあるものを載せたほういいと思います。土・日曜の事業を増やしてほしいです。

(岡田委員) 何処を見ても「ふれあい」「生きがい」「～体験」「～DE～」というお決まりのことばが使われていて、どうしてもありふれたネーミングになりがちです。突き抜けたところがないと参加者の興味を引くことができないし、次の時代に対応することはできません。知りたいこと、学びたいことを反映させることが大切です。

また、豊山町のホームページはごついです。もう少し、スマートというか今風にしなければ取っ付き難いと思います。

(領木会長) 岡田委員、何か変わることはありますか。

(岡田委員) 今すぐに思い浮かびませんが、必ずあると思います。

(近藤部長) 確かにホームページは新鮮な感じはしません。現状に胡坐をかいていると言われてもしかたがありません。早速、出来ることから、ネーミングだけでも模様変えしていきたいと思います。

今回、基本構想・基本計画の見直し論議をお願いしているわけですが、実は現行の構想も非常によくできた内容であり、生かせるところは生かし、これを土台にしたものにしていきたいと考えています。そのために委員の皆さんのお知恵をお貸しいただきたいのです。

(山村委員) 講座にサークルやクラブのものを取り入れたらいかがでしょう。そうすればサークルやクラブ活動が活性化すると思います。

(岡田委員) サークルはどうやって募集しているのですか。サークルはいくつありますか。

(宮沢委員) 記事を書けば広報で紹介してもらえますよ。

(岡田委員) 大学のサークル勧誘のように、半日単位でプレゼンテーション会などを行ったらどうでしょう。他の市町では実施しているところもあります。

(宮沢委員) 文化協会の加入クラブは、文化展で紹介をしています。

- (佐藤委員) 実際、町内にサークルがいくつあって、どのような活動をしているのか把握していません。学習等供用施設や民間施設などで活動しているものを含めるとかなりの数があると思います。
- 他市町で行っている生涯学習フェスティバルのような取り組みは行なっていません。広報への募集記事の掲載は文化協会、体育協会所属クラブに限定しています。
- (岡田委員) 一人前になったサークルをどう育てるかが重要です。サークルマップや一覧表などを作るのも有効です。
- (宮沢委員) 放課後子ども教室となかよし会について伺います。内容が良く分かりませんが同じようなものなのですか。兄弟がいる場合は困るという声を聞いています。
- (近藤部長) 同じものではありません。厚生労働省と文部科学省の両輪で進めている事業です。従来から行なっているなかよし会は厚生労働省の所轄で1年から3年生が対象のいわゆる鍵っ子対策事業です。今回、新しく始まる放課後子ども教室は、文部科学省の所轄で1年から6年生を対象とし、学習補助の部分が入っているところが大きな違いです。どちらも放課後の子どもの居場所づくりと安全対策が基本です。豊山町ではなかよし会が進んでいて順調に機能している上に、今回、放課後子ども教室が実施されますが、全国的にはどちらもやられていない市町村もあります。
- (岡田委員) 文化事業やコンサートなどを事業が行なう場合、予算的な制限や集客に問題があると思います。小規模な自治体は小規模なものしか実施できません。そこで他の市町と共催するという発想はできませんか。テレビで何でも見られる時代なり、見る側のレベルも高くなっているの、いいものを提供するためには連携もありだと思います。
- (佐藤主査) 今までにない発想のご意見をいただきありがとうございました。予算的に厳しい中、他市町では文化事業がどんどん切り捨てられていますが、本町では町当局の理解もあり、今年度も文化振興事業(新垣勉コンサート)を行なうことができます。どこまで継続できるかはわかりませんが他市町との共催という考え方は有効な手法と考えます。しかし、人口やホールの規模など同等でない市町が共催で実施しようと思うといくつかの障害も出てきますので検討事項とさせていただきます。
- (領木会長) 他に、質問やご意見はありませんか。
- 何もなければ第2号議案「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。
- (拍手)
- (領木会長) 第2号議案「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について」は全員の拍手で承認されました。
- 続きまして「その他」に入ります。事務局から何かありますか。
- (事務局) 特にありません。

(領木会長)　　せっかくの機会ですので、委員の皆さんから何かありましたらお願いします。

(声なし)

(領木会長)　　何もありませんね。

皆様のご協力により、本日の議題は全て終了しました。熱心な論議と貴重なご意見をいただき実のある会議になったことに感謝申し上げます。
本日はお疲れさまでした。

上記のとおり平成20年度第2回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席者1人が署名する。

平成20年11月14日

議長　領木國雄

署名人　宮沢洋子